

# 愛&ハート

## ■愛の家

- レクリエーション活動の充実
- 相談支援センター愛の家「みらい」です
- 「感染症対策」について

## ■あいハート須磨

- 夏祭りを終えて
- 高齢者施設の事務職員として
- 「心理的安全性」の高い職場環境へ

## ■あいハート離宮前

- ひょうごノーリフティングケアモデル施設  
認定授与式

## ■NTT労働組合の皆様による ボランティア活動のご紹介

## ■ご寄付について

2024 September

272号

きぼう&かがやき  
利用者さんの  
作品



## 愛の家

### レクリエーション 活動の充実

◇かがやきスタッフ 小戸 叶羽

普段より屋内でのレクリエーションを行い、そこで季節を感じられる食べ物や利用者さんが好きな食材を提供させていただいています。調理段階から利用者さんの目の前でいい、味覚だけではなく視覚でも楽しんでもらえるよう工夫しています。

この度、初めて外出によるレクリエーションに挑戦しました。当日は順調に進められるのかすごく不安



でしたが、先輩職員にたくさんアドバイスをしていただき、行き先からタイムスケジュールまですべてを任せていただきました。

今回の目的地は海・和歌山県立自然博物館・マクドナルド・カラオケです。

はじめにドライブで海沿いを走り、利用者さんは海を車内から見て目をキラキラさせ興奮した様子でした。みんなで大きな声で歌を歌いドライブを楽しみました。

その後、博物館内にある水族館を見に行き、大きな水槽で泳いでいる魚に興味津々な様子でした。化石や展示物もしっかりと鑑賞しました。博物館内には、他のお客さんがたくさんいましたが、混乱することなく

落ち着いて過ごしていただきました。

昼食はマクドナルドの店内で食事することに挑戦しました。食べたいものを聞き、一人ひとりが選んだメニューを食べていただきました。とても嬉しかったようで、ハンバーガーが届くまでの時間もウキウキで過ごされていました。大好きなハンバーガーを食べて満足そうな表情がとても印象的でした。

カラオケでは、順番に好きな曲を歌いました。歌っている利用者さんを他の利用者さんがタンバリン等を使って盛り上げてくれている場面が多く見られました。とても楽し



かったようで、帰りの車の中でもカラオケ内で歌った曲を□ずさんで帰りのドライブもとても盛り上がる事ができました。

初めて外出レクリエーションを担当させていただき、利用者さんが喜んで一日を過ごし、満足そうな顔を見られたのでとてもやりがいを感じました。

今後も更に利用者さんが楽しんで生活できるよう、工夫をしながらレクリエーションをしていきたいと思いました。

### 相談支援センター 愛の家「みらい」です

◇みらいリーダー 片岡 正年

いつもお世話になっております。相談支援センター愛の家「みらい」の片岡です。連日耐えがたい酷暑日が続いています。今年は残暑が長く続くと言われていますので、皆さま方も体調には充分お気を付けてお過ごしください。

早いもので私が相談支援専門員となつて5年目を迎えようとしています。相談員の従事期間は5年と



なっていますので、更新をしなければいけません。私も現在、相談支援従事者現任研修を受講中です。これから相談業務を頑張っていきたいと思います。

今回は地域移行支援についてお話ししたいと思います。

地域移行支援とは障がい者支援施設等に入所している障がい者や精神科病院に入院している精神障がい者が地域生活に移行する際の相談や支援等の援助を行います。私自身まだ1件しか取り扱っていない事案なので、まだまだ勉強中です。

具体的に何をするかといいますと、①利用者が具体的にどのように地域移行支援サービスを利用したらいいかの会議を開き計画を立てる、②利用者の入院・入所先を訪問し、本人とスタッフから退所・退院

に向けた今後の話をする、③退所・退院後の生活の場や日中活動を行う際に必要な手続きに同行サポートを行う、④医療機関や障がい福祉サービス事業所、地域などとの連絡調整を行う、⑤地域生活開始に向けて利用することとなる障がい福祉サービスなどの体験利用や、アパートやグループホームなどの体験宿泊をサポートする、という5つのことが挙げられます。

誰しも新しい生活を迎えるにあたり不安になります。そんな気持ちに寄り添いながら地域移行できるようにサポートしていかなくてはなりません。現在、1名の方のサポートを行っています。関係者と連携を取りながら焦らずにサポートしていきたいと思っています。

## 「感染症対策」について

◇看護師 生野 佳子

はじめまして、4月から愛の家に入職しました看護師の生野佳子と申します。よろしくお願いいたします。

前職は訪問入浴に携わり、1日平

均6〜7件の利用者様の入浴支援をしていました。

また、少しですが障がい児者施設での経験もあり、生活していくうえで全介助ではなく、自由に歩き回れる方々も多く、見守りや傾聴し寄り添うことの大切さを知りました。これまでの経験を活かして頑張っていきたいと思っています。

7月に入り、全国的にコロナ感染者が再び増加に転じ、第11波に突入しています。オミクロン株の一種「KP3」が猛威を振るっています。また、今年の7月は全国で猛暑が続き、「暑さによる発熱なのか?」「感染症の発熱なのか?」という判断が



難しい場面もありました。大阪府内では7月〜8月の間、1週間に確認された1医療機関あたりの感染者数の平均数(定点把握)は10人を超える週が続いており、どこで感染がおきてもおかしくない状況だと言えます。

日々の感染予防対策の継続は非常に難しく思えますが、日課として行える簡単なことから続けていくことが大切だと思います。その代表的な対策は検温、手洗い、うがい、消毒などです。利用者さん、職員の外出時や帰所時等に日課として行うことで習慣化されるのではないかと考えています。

6月の施設内研修会は「BCP」と「感染症」のテーマで実施しました。愛の家でも数年前にクラスターが発生して大変だったと聞いています。これからの時期、インフルエンザも警戒していく必要もあり同時流行も懸念されます。私自身、強い危機感を持ち研修会で学んだことを活かし、そして感染源を「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」ことを意識して対策・支援をしていきたいと思っています。

## あいハート須磨

### 「夏祭りを終えて」

◆特養主任補佐 藤原 祐樹

一年に一度の大型行事の夏祭り。今回の夏祭りには実行委員会として初参加し、実行委員長という大役を担いました。初めてのことで何をどう決めていいのか、段取りもわかっていないため手探りで準備期間でした。普段の業務の合間に実行委員で集まり、会議を重ね話し合いで決定していきませんが、夏祭りを盛り上げようと意



見を出し、準備を進めていきました。

しかし、様々なアクシデントが重なり、予定していた内容から規模の縮小や変更しなければならなかったことが多く、なんとか夏祭りを開催することはできたものの、残念ながら計画通りの内容とはなりませんでしたが、先輩方からの的確なアドバイスと心強いサポートのおかげで、小規模ながらも無事夏祭りを実施することができました。



規模を縮小したとはいえ、普段とは違う雰囲気、違った食事メニュー、ミニ神輿などお祭りらしい演出に、普段は感情を出されない利用者さんも大きな声を出され、

満面の笑みを見せてくださいました。また、普段はあまり食事を摂らない方もお腹いっぱい食べられていた姿を見せてくださいました。盆踊りでは、見事な踊りを見てくださいる方がたくさんおられました。代わり映えの少ない日常の中での特異な一日の重要性を改めて感じました。

今後のイベントもしっかりと準備して実施して楽しんでいたできるように、職員同士で協力し合いたいと思います。また繰り返しだけの単調な日常を変え、少しでも充実して過ごせるような日々を楽しんでいただけるよう、普段のケアを改善していこうと思いました。

来年はあいハート須磨30周年という節目の年です。今回の夏祭りで準備してきたことや、反省点を活かし、大規模な内容で実施を考えている来年の夏祭りは必ず大成させられるよう、しっかりと準備を進めていきたいと考えています。

### 高齢者施設の事務職員として

◆事務スタッフ 遠藤 佑弥

昨年の5月にあいハート須磨の事務職員として入職して、一年以上が過ぎました。

前職は新卒で入職した高齢者施設で、同じく事務職員として16年勤務しており、この度あいハート須磨とのご縁を感じ、心機一転、前職場を「卒業」した気持ちで、あいハート須磨の一員となりました。

「卒業」する際、今後自分がどういったところで、どういったことがしたいのか？と考えた時に、「福祉施設の事務職員でありたい」という想いが強くありました。事務職のなかでも、私はこの「高齢者施設」での仕事にとっても楽しさを感じています。

介護職員ではないので、ご利用者と直接多くの時間関わっているわけではないですが、例えば日々デイサービスにいられる方が私の顔を覚えてくれ、



声をかけてくださったたり、昔話をしてくださったり、世代の違う方々と顔なじみになっていく新しい出会いがあることを嬉しく思います。

また、現場で働く介護職員が日々の業務で忙しく、ご利用者一人ひとりのお話を聞くのが難しい時、私のような無資格の事務職員でもご利用者のお話し相手になることで、少しでも現場の助けになった時もやりがいを感じられます。



今後もういったん楽しさややりがいを感じながら、事務職員として現場や他部署の困りごとを解決する頼れる存在になりたいと思っています。

この一年間は、あいハートの事務員として、まずは担当業務を習得することに専念していました。が、今後は私のこれまでの経験を生かし、あいハート須磨の運営に貢献していきたいと考えております。

前職ではサービス向上委員会や防災委員会等、16年間で様々な委員会活動をしたり、福祉の業界では珍しいISO認証取得継続の為、ISO管理者として品質マネジメントシステムを構築していました。

これらの経験を私の強みとして、無駄を省き業務効率化を進め、職員が働きやすく、皆が笑顔で過ごせる施設になるよう、あいハートの一員として頑張りたいと思っています。



## あいハート離宮前

### ひょうごノーリフティングケアモデル施設認定授与式

◆主任補佐 東野 美果

7月25日(木)、アクリエ姫路にて「ひょうごノーリフティングケアモデル施設」の認定授与式があり、あいハート離宮前がモデル施設に認定されました。『ノーリフティングケア』とは持ち上げない、抱え上げない、引きずらない介護のことであり、職員の負担軽減や利用者の安全安心につながる介護の普及・推進を目的として行われている兵庫県の認定制度です。



あいハート離宮前の事業計画にはノーリフティングケアの推進を掲げており、モデル施設の認定を受けることを一つの目標に半年にわたるノーリフティング研修で学びを深めてきました。研修の内容は大きく「介護技術と腰痛予防推進」と「マネジメント」に分類されます。ご入居者様と介護者の体を守る介護技術を習得して、それを職員に普及させていくことが求められます。

全職員がノーリフティングケアの必要性を理解して技術力を向上することで、ケアの質を高めながら介護負担が軽減していくことを目指し、「どういう教え方にするか」「どうするか」「ポイントを押さえているか」「動作の細部にまで腰に負担をかけない方法で行えているか」を何度もロールプレイしました。

また、研修では他にも「リスク分析」、「環境整備」、「職員の教育体制」、「健康管理」、「介護者に合わせたケアの提供」と、これらを計画性をもって実行していくことの重要性を学びました。



最終的に全ての審査要件を満たし、無事モデル施設の認定を受けることになりました。

あいハート離宮前におけるノリフティングケアの目標は、「体に優しい職場環境作り」です。職員がいくつになっても長く安心して働くことができる環境を作ることは、ご入居者にとってより快適な生活環境を作ることにもつながると考えています。

今後、モデル施設としての取り組みが評価されれば、優良モデル施設への認定を受けることも出来ます。職員一人一人が自ら学び実践し、良質なケアの提供を目指し、その先に「優良モデル施設」となれると信じています。

## 「心理的安全性」の高い職場環境へ

あいハート須磨 施設長 高岡 順二

本誌をご覧いただいている方々の多くは、介護現場の慢性的な人材不足について既にご承知かと思います。団塊の世代が75歳に到達する「2025年問題」や全人口の3分の1が65歳となる「2035年問題」など、介護に関するキーワードも新聞やニュースで発信されています。今では外国人の介護人材の受け入れが一般的となり、2023年度統計で約4万人の外国人が全国の介護施設で働いていますが、今後も数十万人の介護人材が不足すると想定される中、外国人の労働力だけでは数の上でも人的資源の面でも到底カバーすることはできません。

このような環境であっても介護の質を確保し、安定的なサービスを提供していくことが介護現場に求められますが、その対策の一つとして国は「介護分野における生産性の向上」を掲げ、介護ロボットや見守りセンサーの導入など、ICTの活用や業務改善による効率化を推し進めています。あいハート須磨でも既に複数のICT機器を導入していますが、それらはご利用者の状態やスタッフ配置数などに応じて活用してこそ、その機能を十分に発揮させることができるのだと思います。この部分はスタッフの創造力や探求心が必要です。

ICTの活用にしても業務改善にしても、生産性を向上さ



せるためには各スタッフが多様な考えや意見を持ち寄り、話し合いの上で最良と考えられる結論を出して、決定したことをスタッフ全員が同じ方向を向いて取り組む、そして不具合があれば見直して軌道修正を行う、といった営みが必要だと思っています。それには上下関係なく、ベテランであっても新人であっても、思いついたアイデアや意見、提案を自由に遠慮なく発言できる環境も必要です。

誰もが安心して発言や行動ができる状態のことを「心理的安全性」と言います。「心理的安全性」が高い職場は風通しが良く活発な意見が出やすくなるため、昨今のチームマネジメントにおいて重要視されています。単に仲良し同士で好きなことを言えるということではなく、相手と考え方や意見が違っても自分の思っていることを発言できる、上下関係なく意見やアドバイスを求めることができることが「心理的安全性」が高い状態であり、個人はもとよりチーム全体のパフォーマンスが向上し、創造力が高まり問題の早期解決に繋がります。私は現在、ワークライフバランスに関する研修に参加しているところですが、その中でも「心理的安全性」が高まることでチーム内の調和や一体感も高まり、良好な職場環境が構築できるとの教えを受けました。

あいハート須磨には特養部門をはじめ複数の部門（チーム）があります。それぞれの部門で発言しやすい環境や、多様な価値観を尊重し合える環境を構築し、スタッフ一人一人の強みが発揮できるよう試行錯誤しながらではありますが、様々な取組を実践し「心理的安全性」の高い職場づくりに努めていきたいと考えています。

## NTT労働組合の 皆様による ボランティア活動のご紹介

法人本部 事務局長  
根本 浩司

8月22日(木) 知的障害者総合福祉施設愛の家において夏祭りを開催しました。お祭りに欠かせない出店は、今年もたこ焼き、かき氷、ゲームコーナーなど様々な内容を用意し、利用者さんに「夏」を目一杯感じていただけるように企画しました。



出店にあたり、例年行事の運営にご協力いただいておりますNTT労働組合関西総支部の方々にボランティアを要請し、各方面より34名の方々にお集まりいただくことが出来ました。



慣れた手つきで大量のたこ焼きを調理して振る舞っていただいたり、ゲームコーナーを盛り上げていただいたり、各所で利用者さんに対してとても優しくお声かけをいただきたす。屋外は炎天下でしたが、暑さを吹き飛ばすような笑顔が絶えない一日となったと感じます。

事前準備から片付けまで、とても手際よく対応いただくことができ、愛の家の夏祭りは無事に成功裏に終わることができました。改めまして感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

一方、特別養護老人ホームあいハート須磨でも8月25日(日)に夏祭りを開催しましたが、直

前に発生したアクシデントの影響により、規模を大きく縮小せざるを得ませんでした。本来であれば、入居者のご家族やNTT労組のボランティアの方々をお招きして盛大に開催する予定でしたが、それが叶わず、この楽しみは来年度に持ち越しとなりました。

10月には愛の家で毎年恒例の運動会を開催します。事前の敷地内の整備・草刈り、運動会当日の運

営にもNTT労組の皆様がボランティアとしてお力添えいただく予定です。

引き続き当法人の運営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## ご寄付について

日頃は当法人に対しまして、寄付金やボランティア等のご支援を賜り誠にありがとうございます。

昨年度もNTT労働組合様による後援会活動の取り組みをはじめ、退職者の会大阪支部協議会様による愛のカンパやNTTグループ各社様のマッチングギフト等、多くの団体や個人のみなさまから総額26,365,008円(2023年度)の寄付金及び寄贈品等を頂戴いたしました。

| 寄付者                  | 寄付金額              |
|----------------------|-------------------|
| NTT労組 後援会様           | 13,357,222        |
| NTT退職者の会大阪支部様(愛のカンパ) | 500,000           |
| NTTグループ会社様(マッチングギフト) | 2,008,800         |
| その他(NTT労組関連様)        | 7,873,787         |
| その他(各企業、個人様)         | 2,625,199         |
| <b>寄付金合計</b>         | <b>26,365,008</b> |

改めまして、ご寄付を頂戴しましたNTT労働組合各分会をはじめ、NTTグループ各社他、全てのみなさまに感謝申し上げます。

理事長 橋本 寿樹

### 【寄付金のお振込口座のご案内】

| 金融機関名 | 近畿労働金庫 梅田支店                                   | みずほ銀行 堂島支店 | ゆうちょ銀行         | 三菱UFJ銀行 野田支店 |
|-------|-----------------------------------------------|------------|----------------|--------------|
| 店番号   | 582                                           | 507        | —              | 059          |
| 口座番号  | 9006617                                       | 1254625    | 00900-9-320887 | 0243064      |
| 口座名   | 社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団「フク」ゼンデンツウキンキシャカイフクシジギョウダン |            |                |              |

#### 【留意事項】

※インターネットバンキングをご利用の場合、振込手数料は発生しません。

※寄付金口座への直接振込みの場合、寄付目的は「使用目的は法人に一任」といたします。

※領収書を希望される場合は、①名前、②住所、③電話番号、④振込日、⑤振込銀行名、⑥金額をメールまたは郵送、FAXでお知らせください。後日、郵送にて領収書を送付いたします。

### ご支援をくださった方々

#### 《6月》

##### 後援会費

NTT西日本関西支店社会福祉推進委員会 様  
社会貢献・ボランティア基金 様

##### 寄付金

NTT労働組合 関西総支部 大阪南分会 様  
NTT労働組合退職者の会 京都支部協議会 様  
岡田 秀樹 様  
(計5件)

#### 《7月》

##### 後援会費

NTT労働組合ドコモ本部 関西総分会 様

##### 寄付金

荒木 温子 様  
大西 一只 様  
あいハート離宮前ご入居者 様  
(計4件)

#### 《8月》

##### 寄付金

湯浅 義子 様  
(計1件)

### 「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等どのようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 ..... 072-494-0123
- あいハート須磨 ..... 078-737-2525
- あいハート離宮前 ..... 078-731-2130
- 法人本部 ..... 06-6458-5723

#### 【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団

〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73

TEL 06-6458-5723

Website <https://www.zendentu-kinki.jp>

Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>

E-mail [jigyodan@silver.ocn.ne.jp](mailto:jigyodan@silver.ocn.ne.jp)

#### 【発行人】

理事長 橋本 寿樹

